

令和6年度

第29回長岡市花いっぱいコンクール
受賞結果・優秀作品紹介

参加団体数

- ・ グラunkラス 7 団体
- ・ 保育園・幼稚園の部 6 団体
- ・ 小学校の部 3 団体
- ・ 中学校以上の部 7 団体
- ・ 地域の部 11 団体
- ・ 職場の部 10 団体
- ・ ぷちクラス 40 団体

長岡市花いっぱいフェア開催協議会

〈目次〉

グランクラス

- 受賞結果、総評・・・・・・・・・・・・・・・・P 2
- グランプリ：大積小学校・・・・・・・・P 3
- 準グランプリ：長生保育園・・・・・・・・P 4

保育園・幼稚園の部

- 受賞結果、総評・・・・・・・・・・・・・・・・P 5
- 最優秀賞：恵和こども園・・・・・・・・P 6

小学校の部

- 受賞結果、総評・・・・・・・・・・・・・・・・P 7
- 最優秀賞：十日町小学校・・・・・・・・P 8

中学校以上の部

- 受賞結果、総評・・・・・・・・・・・・・・・・P 9
- 最優秀賞：山本中学校・・・・・・・・P 10

地域の部

- 受賞結果、総評・・・・・・・・・・・・・・・・P 11
- 最優秀賞：山口区花の会・・・・・・・・P 12

職場の部

- 受賞結果、総評・・・・・・・・・・・・・・・・P 13
- 最優秀賞：桜花園・・・・・・・・P 14
- ★ぷちクラス・・・・・・・・P 15

グランクラス

(同一賞内五十音順)

✿ グランプリ ✿

大積小学校

✿ 準グランプリ ✿

長生保育園

✿ 優秀賞 ✿

大島中学校

桂小学校

比礼ご近所花壇

複合施設わしま地域共生委員会

悠みどりこども園

【総評】

グランクラスでは、多種多様な花が栽培されており、それぞれが丁寧に管理されていることで素晴らしい生育状況にあることが見て取れます。

花づくりに取り組むうえで凝らされている工夫や、花を活用した活動が多く見られることが最大の特長ですが、その他に特筆すべきこととして、「“どんな”花が、“いつ”、“どのように”育ったのか」という成長過程が作品に落とし込まれていることが挙げられます。

花・人々・活動が見事にバランスよく組み合わせたり、作品を見ただけで花づくりの流れが良くわかるようにまとまっている様子はまさに圧巻で、どの部分を切り取っても楽しむことができる作品ばかりが集まっています。

皆さんがこれまでに培ってきた花づくりの知識や技術を、次世代に惜しみなく継承し、花づくりの魅力を広めていってください。



【私たちの活動紹介】

伝統の花いっぱい運動は、閉校に伴い今年度が集大成となりました。地域の方から教わってきた花の育て方や、花を大切にする心が着実に根付いています。

また、花壇を地域内外の方に見ていただいたり、大白つつじを苔玉にして大積のシンボルとして広めたりしました。

私たちの花が「花の輪」となって残っていくと嬉しいです。



【講評】

今年度は「学校創立150周年」と「大積小学校として今年が最後」ということで、特別な取り組みがなされました。

全校児童で考えた花壇のデザインにはテストピースを使った花壇文字が入り、学校の歴史への感謝の想いが盛り込まれています。花が咲き進むにつれて花色ごとに文字が浮き出るアイデアは素晴らしいです。

花づくりにおいては、中学年を中心に全校で花がら摘みや除草などを頑張り、ビニールシートの代わりにパーク堆肥を敷いて雑草の発芽を防ぐ工夫が凝らされているところも見事でした。

学校は閉校となりますが、これまで続けてきた活動や地域資源の“白つつじ”や“カキツバタ”などは、これからも皆さんの誇りとして引き継いでいってください。

保育園・幼稚園の部

(同一賞内五十音順)

✿ 最優秀賞 ✿

恵和こども園

✿ 優秀賞 ✿

恵和めぐみキッズランド

芳香稚草園

みどりこども園

✿ 優良賞 ✿

栃尾天使幼稚園

新保保育園

【総評】

単に花を植えるだけではなく、土づくりから取り組む園が増えてきていることが印象的でした。

土に触れて植物を植えることで、自然の力強さを実感しながら花の成長を見守ったり、においをかいで、自然とのつながりを感じながら心が豊かに成長している園児の姿は、“花育”の理想像ではないでしょうか。

花づくりを食育まで繋げ、園児たちの思いやりの心を育む機会としたり、園児の活気が鑑賞者に伝わるような作品づくりがなされているかどうかの評価のポイントになっています。

さらに、季節を感じることができる花を選んで育てていることが分かる作品や、花づくり目標に沿った活動が伝わってくる作品は加点が大きくなっています。

これからも、園内に留まらず、地域を巻き込みながら花づくりの輪を広げていってください。



【私たちの活動紹介】

中越地震から20年。花壇には、長岡市の花サルビアが燃えるような赤い色でした。今年も園庭には、色とりどりの花たちと笑顔の子どもたちの歓声が響いています。子どもたちが幸せに暮らせる社会は、きっと誰もが幸せな社会です。子どもたちと職員、保護者、地域の三つの輪から大きな輪となり、皆が幸せに暮らせる持続可能な社会をつくることを願い、これからも目標にしていきます。



【講評】

花と親しみ、笑顔にあふれている園児の姿が印象的です。コサージュづくりやタマネギ染めなど、花や野菜に親しめる企画が工夫されており、保育に関わる皆さんの意識が高いことがわかります。

種から育てる草花、毎年同じ場所で咲く宿根草、桜のように花が咲く木、ウメやミカンなどの果樹、オモイノホカなど様々な野菜といった多種多様な植物に囲まれて伸び伸びと育ち、笑顔にあふれた園児の姿は何よりも輝いています。

また、オープンガーデンの様子からは、園児たちが土づくりや花づくりに愛着を持っていることや、園舎を飛び出して地域との交流が生まれていることが見て取れました。

これからもたくさんの方に“恵和のわ”を広げていってください。

小学校の部

✿ **最優秀賞** ✿ 十日町小学校

✿ **優秀賞** ✿ 新組小学校

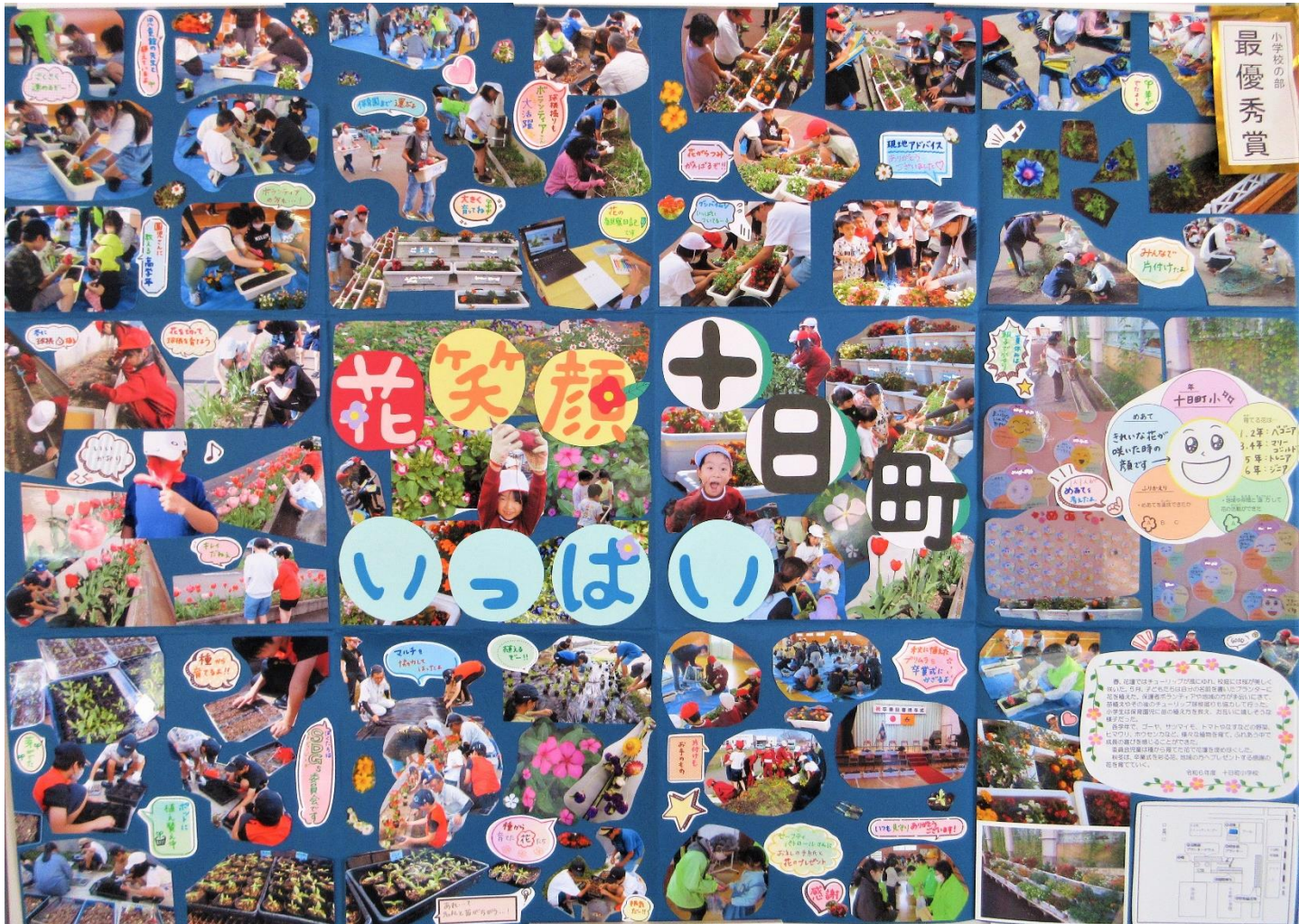
✿ **優良賞** ✿ 神田小学校

【総評】

近隣の保育園や幼稚園、地域の方々と一緒に花づくりに取り組まれていて、それぞれの学校の活動が地域の交流の場として広く展開されていることが良く伝わってきました。

花壇のデザインを児童が決めているところからは自主性が伝わり、保護者や地域ボランティアの皆さんに花をプレゼントするような取り組みがなされているところからは、花づくりをきっかけにした地域づくりへの貢献度の高さも感じられ、これらが鑑賞者に伝わっていることは本当に素晴らしいと思います。

予算や時間等の制約があることと思いますが、今度はぜひ、タネから育てる機会を増やしてみてください。時間や手間がかかったり、失敗することもあるかもしれませんが、花への愛着や責任感がより深まり、さらなる学びや喜びが得られるはずです。



【私たちの活動紹介】

苗を植える時、水やり、片付けの時など、年間を通して保護者や地域ボランティアの方の協力を得ながら世話をしています。

また、3月には登下校の見守りパトロールをしてくださった方に感謝の花をプレゼントします。

花を育てる活動を通して、地域とのつながりや感謝の気持ちを表すよい機会になっています。



【講評】

まず初めに作品から伝わってくるのは、近隣の保育園やコミュニティセンター、保護者や地域ボランティアの方々と交流しながら、花づくりが展開されている様子です。

周りから教えてもらった花づくりの仕方を見守りパトロールをしてくださった方に感謝の花をプレゼントします。

また、児童1人ひとりが花づくりの目標を立てて、それに対する振り返りが行われているところからは、学習との繋がりも見取れました。

今年に上手かったことも、いかなかったことも必ず来年以降の花づくりに活かすので、皆さんの学びを財産にしてください。

中学校以上の部

(同一賞内五十音順)

✿ **最優秀賞** ✿

山本中学校

✿ **優秀賞** ✿

東北中学校

長岡農業高等学校

✿ **優良賞** ✿

栖吉中学校

南中学校

✿ **努力賞** ✿

旭岡中学校 技術部

刈谷田中学校

【総評】

学校内の花づくり活動に留まらず、校外ボランティア活動などにも積極的に取り組む姿勢から、地域への貢献度が高いことがこの部門の魅力の1つであり、そういった作品が今年も出揃いました。

委員会の生徒の名前をもとに花壇デザインを考えたり、季節ごとにデザインを変えたりといった工夫が凝らされているところや、生徒同士で花づくりを教え合ったりしている姿が見て取れることが印象的です。

その中でも、特定の生徒だけでなく、委員会や部活動等を通して全校で花づくりに取り組んでいることが伝わる作品は加点が大きくなっています。

種まきや植栽をしてから見頃を迎えるまでの経過や、誰が何をしているのかが鑑賞者に伝わるような表現が増えると更なるレベルアップに繋がると思っていますので、ぜひ今後の参考にしてください。



【私たちの活動紹介】

今年度は、「満開～花と笑顔が咲きほこる山本地域へ～」をテーマに掲げ、地域交流を意識して花活動に取り組みました。

また、当校のマスコットキャラクターである花の妖精はなちゃんのイベントもたくさん行い、みんなの笑顔をつなぐ役割を担っています。

これからも生徒主体で活動し、豊かな心を育てていきたいと思ひます。



【講評】

前年までの経験を活かして、地域の環境に合わせた植物が選定されていることで、花壇全体が生き生きとしていることが良く伝わってきました。

一段と大きい“山中花壇”の土づくりから取り掛かり、植えた植物を美しく保つためには相当な時間や労力を要するかと思ひますが、生徒はもちろんのこと、学校職員や保護者、地域住民の皆さんが一丸となって活動されている様子は“花いっぱい運動”の理想像です。

また、独自に掲げた「言葉を話すことのない花に寄り添う」「常に思いやりの心を持ってお世話する」というテーマからは、“人づくり”を意識して活動されていることも伝わります。

今後も伝統的に続く皆さんの活動を引き継いでいってください。

地域の部

(同一賞内五十音順)

✿ 最優秀賞 ✿

山口区花の会

✿ 優秀賞 ✿

桐原環境保全の会

高町フローラ

長岡クリーンクラブ

✿ 優良賞 ✿

親子の創造活動・応援団キューブ

上樫出女性部

上川西コミュニティセンター

新組コミュニティセンター

田麦山地域おこしなでしこの会

山通コミュニティセンター

✿ 努力賞 ✿

たんぽぽの会

【総評】

この部門の特長は、作品を通して“まちを美しくしよう”という気持ちや、地域のあたたかさであったり地域の方々の繋がりが伝わる場所にあると考えていますが、まさにこの通りの作品が出揃いました。

昨今、有志を募って定期的に活動をすることは、簡単なことではないかもしれませんが。そんな中でも、子ども会やクラブの会員等を中心に、子どもからお年寄りまで幅広い世代を巻き込んでいる様子から、まちづくりを意識した活動がなされていることが見て取ることができ、感銘を受けました。

また、成長した花を使ったドライフラワーブーケづくり等の花壇やプランターを飛び出した楽しみ方をされていることや、活動の様子を地域で回覧しながら意見箱を設置したりして、参画意識を高める工夫がされているところが印象的です。

これからも、花づくり活動が盛んに行われ、地域の絆がより一層深まっていくことを願っています。



【私たちの活動紹介】

私たち花の会は少人数なので、色々工夫して活動しています。

公民館を囲む第一花壇は子供会と一緒に楽しく植栽しました。地区の中心にある第二花壇にはメインのダリアが綺麗に咲き、中には10年物もあります。山口墓地へ続く道沿いにある第三花壇に咲く花々は、墓参りに来た方が自由に切り花として利用できるよう、区民総出で育てたものです。今年もそれぞれ良い親睦の場になりました。



【講評】

配色のバランスや草丈にも十分な考慮がされ、どの花をどの場所に植栽するかなど、慎重に検討されており、今年目標である「色彩や色のバランスの向上」は十分に達成されています。

地域住民の皆さんと協力しながらの種まき、約1,000本もの苗のポット上げ、定植や剪定などすべての過程で適切な手入れがなされました。その結果、どの花も見事に咲き誇り、鑑賞者の心に残る花壇を作り出しています。

こういった花づくりの技術や皆さんの想いが評価され、「みどりの愛護」国土交通大臣賞という優れた賞の受賞に繋がったのだと思います。

これからも地域の自慢の花壇を見せてください。

職場の部

(同一賞内五十音順)

✿ 最優秀賞 ✿

桜花園

✿ 優秀賞 ✿

かつぼ園

長岡ロングライフセンター

花の里かつぼ

槇山けやき苑

✿ 優良賞 ✿

いずみ苑

エコトピア寿

コロナ長岡工場

✿ 努力賞 ✿

サンホーム

長岡西病院 環境整備チーム

【総評】

タネから花づくりに挑戦している団体が多いことや、施設利用者の皆さんが楽しく、生き生きとされている姿が印象的でした。

タネから育てるには時間や労力がかかりますが、その分、花づくりに携わる方同士の交流の機会が増えることにもなるので、普段顔を合わせない方とのコミュニケーションのきっかけにしていきたいと思います。

高齢者施設では、職員だけでなく入居者の皆さんと一緒に花づくりを行い、花文字づくりやしおりづくりといったレクリエーションに活かすことで、笑顔や活力が生まれている様子も良く伝わってきました。

また、作品づくりに関しては、特徴的な色を持つ花の紹介欄があったり、イベントや活動毎に区分けする工夫が見られたことから、部門全体のレベルアップが感じられました。

今後も、皆さんの活動を地域コミュニティにも広げていただき、多くの方が花づくりを好きになるきっかけになることを願っています。



【私たちの活動紹介】

園庭に植えられた花々を活かし、余暇の充実を図ると共に、社会参加の第一歩を目指し取り組みました。

花の成長を楽しみに、水やりが日課となり、近隣小学校へ花壇の見学に出かけ、しおりをプレゼントするなど、子ども達との交流も出来ました。

今回の取り組みを通して、外に出かける機会も増え、利用者様の笑顔も増えました。



【講評】

植えた花を活用して「押し花のしおりづくり」が行われ、近隣の小学校児童との交流のきっかけとなる取り組みがなされていることが印象的です。こういった活動を通じて、地域との絆を深め、より一層花の輪が広がっていくことを期待しています。

利用者の皆さんのたくさんの笑顔も見られ、職員さんと一緒に土づくりや種まきを楽しんでいる様子が余すことなく落とし込まれています。さらに、家族会等の皆さんによる屋外の除草等の環境整備も行われており、花壇を引き立たせることにも繋がったのではないのでしょうか。

今後も施設の皆さんだけでなく、地域全体で協力しながら花づくりを楽しんでいってください。

ぷちクラス^{☆☆}

🌸 ぷちクラスとは？

令和2年度から、新設した部門です。ぷちクラスでは作品の審査は行わず、賞の授与などありません。花づくりをしている団体を「紹介」することを目的とした、コンクールに新規または再び参加される団体向けの部門です。気軽に参加してみたい、花づくりしてみたいけれど迷っている、自分たちの活動を紹介してほしい、花いっぱいコンクールに以前参加していたけれどやめてしまった、そんな団体の方にもたくさん参加していただき、花づくりのきっかけになってほしいという思いから新設した部門です。

作っていただいた作品は他の部門と同様に展示します。

🌸 ぷちクラス参加団体(40団体) ※順不同

石坂保育園、岡南こども園、善昌寺保育園、花園みどり保育園
東谷保育園、ひまわり保育園、深沢保育園、双葉保育園
ほうゆう保育園、前川こども園、新町小学校、川崎小学校
阪之上小学校、千手小学校、関原小学校、栃尾東小学校、栃尾南小学校
中之島中央小学校、富曾亀小学校飼育栽培委員会、前川小学校
脇野町小学校、小国中学校、北中学校、新潟大学附属長岡中学校
西中学校、川崎地区福祉会かだん部、希望が丘コミュニティ推進協議会
栃尾表町老人クラブ表和会、中之島与茂七地藏尊
花街道わしま実行委員会、富曾亀コミュニティセンター、豊青年会
おごしの里、縄文の杜関原、サポートセンター大島、みやざわ苑
てまり総合ケアセンター、こしじの里、まちだ園、長岡カヤバ株式会社



